

東エルサレムYMCA会員のSamer R A Nijim氏
スリランカYMCA同盟のDenver Thurairaj氏

海外ゲストを迎えて国際交流会 復興支援など意見交換

北YMCA



11月1日(火)、YMCA大会終了後に日本各地のYMCAを回って交流を深めているパレスチナの東エルサレムYMCA会員のSamer R A Nijim氏とスリランカYMCA同盟津波被災支援コーディネーターのDenver Thurairaj氏をゲストとして迎え、日

本キリスト教団豊中教会の集会所で交流の時間を持ちました。パレスチナのSamer氏からは、日本ではあまり聞くことのできないパレスチナ国内の状況やオリーブの木キャンペーンなど国内外で行われているパレスチナの平和復興キャンペーンの話、スリランカのThurairaj氏からはスリランカにおける津波被害の状況と、今年行われた被災児対象のキャンペーンの話、また日本からの支援とキャンペーンの指導のお礼を述べられました。その後、質疑応答にうつり軽食を取りながら

の歓談を行いました。今回は夏のスリランカキャンプ団長の只野さんやリーダーたち、10年間スリランカプロジェクトを続けてきている国際プログラム委員も参加し、今後のキャンプや復興計画について熱心な意見交換が行われました。今年のスリランカキャンプのアイデアショーも行われ、検問所を通らないと学校にも行けないパレスチナの現状を聞き、和やかな中にも緊張した大変有意義な交流会となりました。

(神戸前順次・服部緑地ユースホステル所長)



土佐堀YMCA

地球のためにできること リユース食器を使いましょう

「どうやって直すのかわからないものを、壊し続けるのはもうやめてください」※

1992年、ブラジルで開かれた国連のリオ地球環境サミットで世界のリーダーたちを前に当時12歳だったセ

「とさぼりカーニバル」での紙コップ、紙皿、割り箸の使用をやめ、リユース食器を利用していただきます。参加者に協力していただき、洗って消毒すれば再利用できる食器を使っているのです。スタッフの田尻忠邦さんが数年前に提言され、昨年より(財)千里リサイクルプラザ研究所市民研究員・大澤浩子さんの協力のもとで実施しています。とさぼりカー

ニバルは交流の場であるとともに、学びの場でもあると考え、環境教育の一環として取り組んでいます。ごみ的大幅な減量や参加者の意識が変わるなど少しずつ成果が出てきており、「クリスマスのついで」でも利用しています。日常生活において私たちは常にコストを考えています。しかし「コスト」とは材料費や人件費などの製造・流通コストだけでなく、たしかに直接支払う代金とかが消費することにより発生するごみの処理費用もまたコストなのです。そこには単純に金額に換算できない環境

負担というコストもあります。環境のために私たちができることはたくさんあります。自分の食器を持ち歩くことや可能な限りごみを分別することもそのひとつです。環境、人権、貧困、紛争、暴力など今日私たちが直面している様々な問題ほとんどが地球規模の問題です。それらが無関心をやめることから始まるのです。※引用：「あなたが世界を変える日」セヴァン・カリス・スズキ著／ナマケモノ倶楽部編・訳(岡野泰和・とさぼりカーニバル実行委員長)

大阪YMCA
大阪YWCA
関西韓国YMCA

合同祈禱週集會

「共に祈ることの大切さ」を実感！

「こんなに多くの人びとが、飢えと苦しみで死んでいき、差別と不正に苦しみ、生きていく最小限のものをも持たず、戦争と紛争の中で苦しみ、死んでいきます。この世界に生きるすべての人が、尊厳を持って生きることができませんように。なぜなら、誰もが大切な人なのですから。アーメン」

11月14日(月)、大阪YMCA・大阪YWCA・関西韓国YMCAによる合同祈禱週集會がYMCA会館にて行われました。第一部は「あなたは神にとって大切な人」をテーマに参加者98名が心を合わせ共に祈りました。苦しみの中にある人、世界中の子ども、貧困や暴力に苦しんでいる女性、貧しい人、苦闘している先住民の人、HIV/AIDSに

苦しんでいる人、を憶えて。もし神にとつて誰もが同じように大切な人びとは飢えたまま放っておかれるのでしょうか。なぜ私たちの隣人であるHIV/AIDSの人びとは皆に疎まれ、後ろ指をさされるのでしょうか。どうして争いのある地域の内外で民間人が殺されたりするのでしょう。どう

して女性は男性と同じ機会を与えられないのでしょうか。世界YMCA/YWCA両会長からの問いかけです。当日の席上献金は、セットン(関西韓国YMCA)とステップハウス(大阪YWCA)のプログラムに捧げられました。第二部の「交わりを集い」では、会員有志の皆様、IHSの学生有志の皆様にご協力いただき用意した手作り料理を味わいました。活動紹介では関西韓国YMCA



Aの牧師夫人合唱団による讚美歌もあり、にぎやかに交流の時を持つことができました。(牧口望・大阪YMCA常議員)

大阪YMCA保育事業の新しい展開

大阪YMCAは、1999年4月からJR長居駅前で保育園を開設し、一人ひとりを大切にする保育を心がけ、家庭、地域とともに子どもたちを育む支援を行ってまいりました。そして新たに、2006年4月から大阪市西区(仮称・YMCAとさぼり保育園)と川西市において保育事業を展開いたします。「やさしい心・強い意志・健やかな身体・いきいきと自由に」のYMCAの願いに基づき、神さまからの授かりものである子どもたちが健やかに育つ地域社会を目指します。

大阪YMCA保育園3拠点

<p>YMCAとさぼり保育園 大阪市西区土佐堀 生後6ヵ月～5歳児 7:30～19:30</p>	<p>大阪南YMCA保育園 大阪市住吉区長居東 生後43日目～3歳児 7:30～20:30</p>
<p>川西YMCA保育園 兵庫県川西市小花 生後43日目～5歳児(予定) 7:00～20:00</p>	